



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 日本 EXPO 2005 AICHI 愛・地球博

ポルトガルの”なまはげ”が愛知万博にやってくる！

いよいよ愛知万博も残すところ後わずかです。

19日から25日までポルトガル館はお祭りウィークです。

ポルトガル版”なまはげ”のようなパフォーマンスが予定されています。北ポルトガルの伝統的な音楽とインパクトのあるダンスパフォーマンスで万博最後の1週間を盛り上げていきます。

上演する場所に合わせてパフォーマンスは様々に広がり、節度と礼儀をわきまえながら通行人と交流していきます。

仮面をつけたカレットたちはバグパイプや打楽器の音に導かれ踊り、首鈴をならし、飛び跳ね、通りがかりの人と楽しくかかわりあいます。

道化と結びつくような派手な色彩の装束、そして醜悪な仮面をつけ、カレットたちはポルトガル伝統のパフォーマンスの中でも非常に際立っています。

このパフォーマンスはポルトガル館のポルトガルのお祭りを紹介する週間(カイス誌後援)のなかのイベントとして行われ、行列/行進、音楽の他館内イベントルームでは、ポルトガルのお祭りの写真の展示と職人による仮面作りの実演も行います。

Os Caretos de Bragança (オス・カレットス・デ・ブラガンサ)

ブラガンサはポルトガル北東部のトラス・オス・モンテス地方の町。

カレットスとは鬼のような仮面をつけ、ビエロのような派手な装束をまとったもの達のことです。

カレットスは悪事を行った人々に訓戒を与える…というようなポルトガル版なまはげです。

CAIS協会

今回、CAIS誌100号を祝ってポルトガルのお祭り特集と愛・地球博ポルトガル館でのお祭りウィークを支援したCAIS誌は非営利の社会連帯組織です。

協会が誕生したのは1994年。生活の窮乏、社会からの疎外、生命の維持さえ危機的な状況にあるホームレスの人々の、生活状態全般の改善を目的として設立されました。

現在”CAIS”誌は、ロンドンの”The Big Issue”誌をモデルに、編集・グラフィックの両面でテーマの質と内容に強くこだわった写真ルポの発行を続けています。全世界のストリートペーパーが組織するインターナショナル・ネットワーク・オブ・ストリートペーパーズ (INSP) の一員でもあります。総ページ数は64ページ、総発行部数は通常4万部、紙は再生紙を利用。この”CAIS”誌は1部2ユーロ。その70%がその売り手に支払われ、残る30%については、15%が雑誌の配布元に、残る15%がCAISに還元されます。雑誌の売り手となっているのは、みな社会にしいたげられた弱者ばかりです。なかには、ホームレス、いかなる収入の手立てもない無所得者、生命の維持すら危機的な状況にある移民といった人々がいます。

構成： 仮面、バグパイプ、打楽器、職人

場所： グローバルコモン4・ポルトガル館内、外

パフォーマンススケジュール： 9月19日～25日 1日3回、30分間
(11時、14時、15時半予定)